募集要項第 1-2 号様式（ＰＲ助成・トライアル活動助成・組織基盤強化助成用）

活動計画書

団体名：Too Much 株式会社

1 組織の現況、課題

名古屋駅西エリアでは、リニア中央新幹線の開業に向けた再開発や工事が進み、古くから親しまれてきた商店や建物が姿を消し、解体後の空き地も増加している。地域住民にとっては、まち全体が工事現場のように感じられる場面もあり、リニア開業への期待感と、開業延期による停滞感が混在している状況にある。

また、当初 2027 年とされていたリニア中央新幹線の開業予定が 2034 年以降へ延期される見通しとなったことで、地域内におけるまちづくりや機運醸成の空気も、やや停滞していると感じている。

Too Much 株式会社は、名古屋駅エリア限定のまちづくり会社として 2024 年 9 月に創業した。名古屋駅太閤通口まちづくり協議会の幹事として椿フェスタ等の地域活動にも参加しながら、自主企画による地域の日常に根ざした活動を行っている。また、2025 年度には名古屋市のまちづくり講座業務も受託するなど、地域と行政の双方と関わりながら活動を進めている。

2 助成を受けようとする活動の目的

本活動「りにあそび」は、リニア中央新幹線開業までの時間を、地域の時間として前向きに楽しみながら過ごすための、地域発のスローガン・PR 活動である。

名古屋駅西エリアでは、リニア工事が日常的に続いている一方、開業延期による停滞感も生まれている。「リニア開業までは何も始まらない」という空気ではなく、工事期間中も地域住民や来街者が地域の日常を楽しみ、リニアを身近に感じながら、前向きな空気を共有できる活動が必要だと考えた。

そこで、「りにあそび」という言葉を用い、ポスターやステッカー等を通じた地域主体の自主的な PR 活動・応援活動を行うことで、地域内外へ前向きな機運を発信していく。

本活動を通じて、地域住民や来街者による自主的な地域参加や交流を促進するとともに、地域からリニアを応援する空気づくりにつなげていきたい。
※JR 東海側の要望により、当初の「りにやすみ」を「りにあそび」へと変更しました。

3 活動による今年度の成果目標

今年度は、「りにあそび」ポスターの地域内配布・掲示を通じて、名古屋駅西エリアを中心に、名古屋駅周辺地域での認知拡大を目指す。具体的には、地域店舗や協力先等へのポスター掲示 100 箇所程度、ステッカー7,000 枚の配布を目標とする。また、単なる掲示活動にとどまらず、「りにあそび」という言葉を通じて、地域住民や来街者の間で、リニア中央新幹線や地域のこれからについて前向きな会話や空気が生まれることを目指している。

さらに、本活動をきっかけとして、地域店舗や地域住民による自主的な関連企画やサービス、メニュー等が生まれるなど、地域内での自発的な広がりにつながることを期待している。

※ この様式は公開されます。

4 助成を受けようとする今年度の活動内容

本活動では、「りにあそび」PR ポスターおよび PR ステッカーを制作し、名古屋駅西エリアを中心とした名古屋駅周辺地域において掲示・配布を行う。

ポスターについては、Too Much 株式会社が拠点とし、運営にも関わるホリエビル、オミャーゲ名古屋での掲示・配布に加え、名古屋駅太閤通口まちづくり協議会、名古屋駅地区街づくり協議会等とも連携しながら、地域店舗や関係事業者等への掲示協力の呼びかけを行う。

ステッカーについては、協力店舗での配布や自由配布等を想定しており、店舗側に過度な負担が生じない形で、日常の中で自然に広がる配布方法を目指している。

また、2025 年 11 月 1 日に開催予定の「椿フェスタ」にあわせ、名古屋駅西駅前広場において、JR 東海および名古屋駅太閤通口まちづくり協議会等と連携した案内・PR 拠点の設置を構想している。当日は、「りにあそび」ポスター・ステッカーの配布開始に加え、自己資金で制作する ZINE・フリーペーパー等の配布も予定している。

さらに、活動内容や地域情報を発信するための LP サイト制作等も検討しながら、地域住民や来街者へ継続的な周知活動を行っていく。

5 今年度の活動実施の際に協力や調整等が必要となる関係者等

本活動は、名古屋駅西エリアを中心とした地域内での掲示・配布活動となるため、地域団体、地域事業者、行政機関等との連携・調整を行いながら進めていく。

名古屋駅太閤通口まちづくり協議会については、本活動の趣旨説明および活動実施について了承を得ており、地域内での周知や掲示協力等について連携を進めている。また、名古屋駅地区街づくり協議会とも活動内容の共有を行っており、今後の連携について協議を進めている。

JR 東海に対しては、「りにあそび」の趣旨説明を行い、現在、取材協力等について相談を進めている。加えて、名古屋市とも活動内容を共有し、地域内での周知等について協力・連携を行っている。

さらに、名古屋市立大学とも活動内容を共有しており、今後、授業や地域調査等を通じた関わりについて検討を進めている。

本活動は、地域住民、地域団体、行政、事業者等が、それぞれ無理のない形で関わりながら、地域発の自主的な PR 活動として展開していくことを目指している。

6 今年度の活動内容のスケジュール

月	活動内容	詳　　細
4	企画調整・関係者相談	JR 東海に相談後、市役所に協力要請。名古屋駅太閤通口まちづくり協議会への報告・相談。
5	企画調整・関係者相談	JR 東海との協議。名古屋駅地区街づくり協議会へ共有。リニア試乗イベント参加。

※ この様式は公開されます。

6	デザイン制作・取材・冊子制作・イベント	ロゴ制作。冊子のページ構成やポスターレイアウト開始。名古屋駅地区街づくり協議会の勉強会で加盟企業に向けてリニアトークイベントを JR 東海と開催予定。
7	デザイン制作・取材・冊子制作	原稿制作、デザイン制作等進行
8	デザイン制作・取材・冊子制作	原稿制作、デザイン制作等進行
9	デザイン制作・取材・冊子制作	原稿制作、デザイン制作等進行
10	印刷	入稿、印刷・掲示協力呼びかけ
11	配布	椿フェスタ開催日よりステッカー配布開始
12	地域内配布・周知活動	ポスター掲示とステッカー配布店舗への拡大
1	地域内配布・周知活動	ポスター掲示とステッカー配布店舗への拡大
2	地域内配布・周知活動	ポスター掲示とステッカー配布店舗への配布完了
3	周知活動	ポスター掲示

7 活動後、次年度以降の展望

「りにあそび」は、単年度で完結する活動ではなく、リニア中央新幹線開業までの期間を、地域の時間として前向きに楽しむための継続的な地域 PR 活動として展開していきたいと考えている。

今後は、名古屋駅西エリアを起点に、地域店舗や地域住民による自主的な活用や関連企画、メニュー等が自然に生まれる状態を目指している。また、ZINE・フリーペーパー等の自主制作物や情報発信も継続しながら、地域の日常の中で「りにあそび」という言葉や空気を育てていきたい。

さらに、リニア沿線地域や停車駅周辺地域においても、それぞれの地域が自由に「りにあそび」を活用し、地域独自の取り組みへ発展していくことを期待している。

将来的には、リニア沿線地域同士が交流しながら、開業を前向きに楽しみに待つイベントや企画等へ発展させることで、地域発の自主的な機運醸成活動として継続していきたい。

※ 各欄のサイズ変更は可能ですが、3 ページを超えないように作成してください。
※ 用紙の大きさは日本産業規格 A4 とする。

※ この様式は公開されます。